



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県 土木職 採用案内

宮崎

の未来を

創

ろう



宮崎県



「みやざき新時代」の担い手を募集中！

自分の可能性を活かせるフィールドに向かって、チャレンジしませんか。

宮崎県の土木技術職員は、安全・安心で快適な県民生活を実現するために、幅広いフィールドで、やりがいのある仕事に取り組んでいます。

Field 1

社会資本の整備

私たちが豊かに快適で安全に生活していくためには、道路や橋梁、河川、港湾など社会資本の整備が必要不可欠です。

しかし、宮崎県は、これらの社会資本の整備が他の地域に比べて、まだ十分とは言えません。

このため、宮崎県では道路や港湾・漁港などの交通・物流ネットワークの建設や維持管理をはじめ、都市計画・まちづくり、公園の整備などを、幅広く行っています。

このように仕事の成果が形になって行くところが、土木職の醍醐味であり、非常にやりがいと達成感の味わえる仕事であると言えます。



急ピッチで建設が進む地域高規格道路（都城志布志道路）



整備が進む東九州の物流拠点 細島港



中山間地域に整備されたトンネル



開通した快適な道路



橋梁の定期点検

主な
配属先

- 本庁
技術企画課 道路建設課 道路保全課
河川課 砂防課 港湾課 都市計画課
高速道対策局 漁村振興課 企業局
- 出先機関等
土木事務所 港湾事務所 西臼杵支庁
建設技術センター 農林振興局
など

採用後は、2～3年のサイクルでさまざまな分野の職場を経験しながら、幅広い知識と能力を習得します。

本庁では、事業の企画、立案及び予算化を行い、出先機関の土木事務所・港湾事務所などでは、具体的な事業計画の策定、工事の設計・積算、施工管理、工事完成に至る一連の業務を担当します。

Field 2

防災・減災の取組

宮崎県は台風などの豪雨、南海トラフ地震等の地震や津波、霧島火山の噴火など、自然災害のリスクが非常に高い地域です。

このため、県民の安全・安心を確保するための防災・減災対策の取組が重要な課題となっています。

宮崎県では、災害の被害を未然に防止または最小限に食い止めるよう、河川堤防、防潮堤の整備、ダムの管理、また土砂災害防止のための啓発活動などを行っています。

このように、県民の命と財産を守るという高い使命感を持って、日頃の業務に取り組んでいます。



大雨により崩壊した道路の復旧



小学校での
土砂災害防止教室



護岸整備された河川



防災訓練



ダムの水量管理

Field 3

美しい宮崎づくりの推進

宮崎県は温暖な気候のもと、豊かで素晴らしい自然環境に恵まれています。

このような環境の中、宮崎県では、良好な景観を築き上げていくために、全国に先駆けて取り組んできた沿道修景美化や都市公園・植物園の整備、また道路や河川の環境保全活動を住民と協働で行うなど、

さまざまな取組を行うことにより、県土の美化に努めています。

近年、国内外からの交流人口が増加しており、おもてなしの観点からも美しい宮崎づくりをさらに進めることが求められています。



リニューアルした宮交ボタニックガーデン青島
(県立青島亜熱帯植物園)



日南海岸沿いの道路



工業高校との
川づくり協働事業



景観に配慮した
水辺空間の整備

先輩職員からのメッセージ



■所属
河川課河川担当
■入庁
平成22年度
■経歴
平成22～23年
都市計画課
平成24～26年
日向土木事務所
平成27年
国土交通省
(研修)
平成28年～
現職

木田 昌志 (Masashi Kida)

■現在携わってる仕事の内容

宮崎県内には476河川(総延長約2,796km)があり、洪水等の災害発生を防止するために、緊急性や環境に配慮しながら、効果的・効率的な整備や改修の方針を決定する必要があります。私は、そのための資料の作成や検討、また事業を進めていく中で、国や土木事務所など関係機関との協議を行っています。

■仕事のやりがいについて

河川整備にあたっては、職場内での議論を深め、様々な部署との調整を行った上で方針を決定しています。洪水等の防止や河川の憩いの場としての利用など、河川整備により住民の方から喜ばれる声を聞いたときには、とてもやりがいを感じます。

■宮崎県庁の受験を考えている人へのメッセージ

土木職は、宮崎県内の河川や道路など、県民生活を支える社会資本の整備を担うとてもやりがいのある仕事です。また、私は、研修で国土交通省(本省)に一年間勤務したのですが、県職員でありながら、国の行政に携わるといった貴重な経験を積む機会もあります。「宮崎県(県民)のための仕事がしたい」と考えている皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



■所属
西臼杵支庁土木課
道路建設担当
■入庁
平成24年度
■経歴
平成24～25年
都市計画課
平成26年～
現職

若松 なぎさ (Nagisa Wakamatsu)

■現在携わってる仕事の内容

西臼杵支庁で、山間部の道路整備に携わっています。職場の上司に限らず、様々な年代の職人さん達に「現場」を教えてもらいながら、道路の幅員や視距不足などの危険箇所を改良する仕事を計画から工事完成まで担当しています。地元の小学校に出向いての出前講座など、土木の魅力を社会に発信することも仕事のひとつです。

■仕事のやりがいについて

大型重機での作業など、ダイナミックに動く工事現場を直接体感できることも、土木職の魅力です。職場の上司、施工業者、地元の方に協力してもらいながら、現場が完成した時は、やりがいを感じます。仕事の成果が目に見えるので、責任もより大きく感じます。

■宮崎県庁の受験を考えている人へのメッセージ

男性社会のイメージが強い職種ですが、「県民目線」という同じ目標を持っているからこそ、私自身「女性だから」と感じることはなく、気負わず仕事できています。土木を通して地域貢献がしたいという皆さんの志と同じです。いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。

若手職員がFacebookで土木事務所の業務の様子を投稿しています。Facebookで「宮崎県 宮崎土木事務所」を検索してみてください。

勤務時間

勤務時間は週38時間45分で、原則として月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで(休憩時間を除く。)となっています。

休暇

年次休暇は1年につき20日(4月に入庁した年は15日)あり、その他特別休暇(夏季休暇、結婚休暇、出産休暇など)があります。なお、年次休暇は、残日数がある場合、一定の範囲内で翌年に繰り越すことができます。

研修制度

職員として必要とされる知識の習得や能力の開発のため、基礎研修のほか、土木に関する専門的知識・技能を深める専門研修を行っています。このほか、国土交通省への派遣研修など、さまざまな研修制度があります。

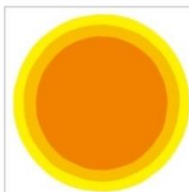
お問い合わせ先

宮崎県 県土整備部 管理課 総務担当

電話 0985-26-7175 E-mail kanri@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県職員

検索



日本の
ひなた
宮崎県